


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 甲斐土木工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																										
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念、会社のあるべき姿を全体会議毎に口頭で従業員へ説明し、社員一同、同じ方向を目指した経営に注力している。 ・当社ホームページ上にも経営理念を公開し、確認しやすい環境を整備している。									8	9								17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・参加協会等からの法令遵守関連等重要事項は掲示板に公開し、周知を図っている。 ・特に交通ルールに関しては無事故無違反の報奨制度を設けている。																	16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争には一切関与しないよう全体会議毎に口頭で社員に周知している。 ・入札額等、談合に関する情報については、特に注意した取り扱いを行うよう営業担当者、入札担当者へ定期面接時に指導している。											10							16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・工事現場毎に地域社会・環境へ影響を及ぼすことから、現場責任者を担当としている。 ・問題点等については管理職より社内全体へ通知している。																		16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などを侵害しないよう、それらを安易に使用しないよう、計画書類の社内承認時に従業員へ指導している。										8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報を総務部署にて一括管理する体制を設けている。 ・各工事現場で個人情報を保持しないよう指導している。																		16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事現場近隣住民については粉塵、騒音、振動等でご迷惑をお掛けすることを丁寧に説明し、都度の要望には真摯に対応できるよう対話に努めている。 ・住民からの苦情は会社、行政機関担当者へ都度報告することを指導し、書面にて提出している。																		16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●								5				8		10				12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9				11			13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の選定が完了。 ・事業承継にむけて各協会、所属組織への顔繋ぎを行うと共に、後継者セミナー等の受講を行い、後継者の指導育成に取り組んでいる。										8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●						1	2					5							12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用条件、福利厚生等について差別のない体制を徹底している。 ・各種ハラスメントが発生していないか、従業員への声掛けを会社として取り組んでいる。						4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・月に1回、各工事現場で安全訓練を実施している。 ・新たに雇用した者には安全訓練講習会への参加を義務付けている。							3				8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・全従業員に正社員雇用を促している。 ・各種手当について雇用形態による違いは定めておらず、公正な待遇に努めている。								5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・有給を取得しやすい社内風土を心掛けている。 ・各従業員の日報を基に残業時間の管理を徹底している。 ・繁忙期以外は早帰り体制を取っており、定時退社を推奨している。								3	5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修等へ積極的な参加を促し、各種資格取得を推進している。 ・資格取得に必要な経費は会社にて負担することとしている。									4	5.5			8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるように対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・定期健康診断の受診はもちろんのこと、その後のフォローに注力している。 ・再検査時には受診費用の補助を行っている。 ・会社に健康面で相談しやすい環境づくりに努めている。													8							17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・当社取締役6名のうち3名が女性であり、多様な人材が活躍できる社内環境を整備している。											4.4	5.1 5.5		8.5					10.2 10.3	16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・従業員へPCを配備しており、テレワークを選択できる体制を構築している。 ・希望に応じて感染症拡大時以外にもテレワーク可能としている。											3			8	9.1		11	12			
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																8	9.1		11	12			
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																8	9			12			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 甲斐土木工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物は適切に分類した上で、各種類別に専門業者へ運搬している。 ・マニフェスト伝票を使用し、各工事現場毎に集計して管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車、建設機械で使用するガソリン、軽油は給油量を会社にて一括管理し、各現場責任者へ各現場毎の使用量を案内している。 ・各使用量を把握した上で、不必要な運転の発生を確認し、その削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを使用し、自社の温室効果ガスの排出量を把握している。 ・保有する建設機械については、全てを排ガス対応車と確認した上で各現場へ配備し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・工事現場で発生する排水は直接水路や河川等に流すことなく、沈殿槽を設けた上で汚濁防止に努めている。 ・施工計画書に環境に配慮した施工手順等を記載し、遵守している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・建設現場からの発生土を単に処分場へ持ち込むのではなく、改良材を使用し、軟弱地盤対策として再利用している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・作業所において車両洗浄等に使用する水は、タンクに溜めた雨水を利用している。 ・河川工事を行う際は地元漁協との協議を行い、水質に影響の無い施工を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・製鉄時の副産物である鉄鋼スラグを建設資材として販売、利用することで、循環型社会へ貢献している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 甲斐土木工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・管理職が品質証明員を担当している。 ・各工事現場での品質確保を義務付けている。			3.9						9		12.4													
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		【予定】 ・新社屋において段差の無いフラットな職務環境を整備している。 【2023年2月完成】									9.1	10	11.7												17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15							17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7					12.2	13.1		15								
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4	11.a	12.2			14	15							17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・ボランティア清掃に会社として毎年参加している。 ・業務時間を充て積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・従業員に向けた防災用品、備蓄品を確保している。 ・緊急連絡網の整備(電話及びLINE)を行い、連絡が取れる体制を取っている。				4							11.5			13.1							16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・建設業協会を通し防災協定に参加しており、災害時は復旧作業を担っている。 ・下水道への災害被害時には、復旧要請に対応する体制を取っている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1						16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1										
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生のインターンシップを積極的に受け入れ、その様子をHP上で公開している。				4						8.6		10.2										17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4						8.5 8.6													17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・農業兼業者も採用している。 ・農繁期の休暇取得を行いやすい環境を整備している。			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15					17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。